

がん医療公開講座、開催しました ～がん医療の「現在」を知る～

以下のとおりがん医療公開講座を実施しました。

後日動画配信を行いますのでぜひご覧下さい。動画配信については、ホームページの「病院からのお知らせ」に掲載します。(掲載日未定)

内容

プログラム1 顕微鏡でわかるがんの性格(病理学部長 鈴木誠)

プログラム2 免疫チェックポイント阻害薬による肺がん治療
(化学療法センター長 朝田和博)

プログラム3 糖尿病、内分泌、代謝疾患とがん
(糖尿病内科医長兼内分泌内科医長 小谷仁人)

プログラム4 知っておくと役に立つがんの知識(これまでの「がん公開講座」より)
(副院長兼がん診療部長 大場範行)

問合せ 静岡県立総合病院 会計課経営推進担当



がん患者サロン すまいる メディカル・カフェ「がん哲学外来」

がん患者さんの相互交流の場として患者サロン「すまいる」を月に1回水曜日開催しております。患者さんとそのご家族同士で、病気の悩みやお互いの思いなどを自由に話し合うサロンです。お茶を飲みながら気楽にお話してみませんか？

参加費:無料

事前申し込み:不要

次回開催予定日:令和4年12月14日、
1月11日、2月8日、3月8日

開催場所:北館 5E病棟ラウンジ

多くのがん患者さん(ご家族)が垣根を超えた様々な方との対話により、安心した人生を送れるように寄り添える支援を目指し、「メディカルカフェ」を開催します。電話またはFAXにてお申し込みください。参加費:無料
定員:20名(事前申し込み制)
次回開催予定日:令和4年12月24日(土)
開催場所:県総 レストランコンパス

「病院だより」では、患者さんへ
院内の様々な情報をお伝えします。

ご意見等がありましたら、下記までご連絡ください。
発行 静岡県立総合病院 広報委員会事務局(総務課)
〒420-8527 静岡市葵区北安東4-27-1
電話 054-247-6111(代表) FAX 054-247-6140
ホームページ <http://www.shizuoka-pho.jp/sogo/>

あなたと病院をつなぎます

病院だより

膵臓がんドック、始めました！

令和4年10月より、当院消化器内科で、膵臓がんドックを始めました。膵臓がんは早期発見が難しく死亡率の高い疾患です。“膵臓がんドック”はMRI等を用いて、膵臓がんの前段階と指摘されている病変を発見することで、膵臓がんの早期発見・早期治療に繋がります。

膵臓がんのリスク (特に受診を勧められる人)

- 肥満の方、喫煙・飲酒をされる方
- 糖尿病や膵嚢胞を指摘されたことがある
- 膵炎にかかったことがある
- 膵癌の家族歴がある



検査内容

- 血液検査(膵酵素、腫瘍マーカー)
- MRI検査(MRCP)
- 超音波内視鏡検査



検査日時・費用

毎週水曜日 AM8:30～(予約制)

99,000円(税込)

検査予約・申込み・問合せ

静岡県立総合病院 膵臓がんドック担当

054-247-6111(代) ※お電話の受付は平日の8:30～16:00になります。



就労支援出張相談、実施中

令和2年2月より、ハローワーク静岡と静岡産業保健総合支援センターの協力による就労支援の出張相談会を開始しています。

がん、肝炎、糖尿病等の治療を受けながら、就職又は就労全般に関する相談をすることができます。まずはお電話にてご予約ください！

■ハローワーク静岡による出張相談

- ・毎週第3水曜日【事前予約制・無料】
- ・13時・14時・15時 各1時間
- ・病状や治療状況にあわせた就職相談

■静岡産保センター(社労士)による出張相談

- ・随時(水曜日)【事前予約制・無料】
- ・復職や保険・手当・年金等に関する相談

相談無料
要予約

【対象者】

当院に通院中で、がん、肝炎、糖尿病等の治療を受けながら就職又は就労全般に関する相談を希望される方

【会場】

北館1階 医療福祉相談室

【ご予約】

静岡県立総合病院
がん相談支援センター・患者サポートセンター
TEL 054-247-6111(代)
受付時間 平日8:30～17:15



寺尾免疫研究部長の様々な論文が評価されています

当院では、医師を中心とする職員がより良い医療を目指し、情熱を持って医学研究にも精力的に取り組んでおります。

寺尾免疫研究部長(理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム チームリーダー、静岡県立大学特任教授)らが参加する国際共同研究グループの研究論文が世界で特に権威ある学術雑誌と評価されている科学雑誌「Cell」や、科学雑誌「RHEUMATOLOGY(OXFORD)」オンライン版、科学雑誌「Journal of Investigative Dermatology」などに取り上げられました。

引き続き、医学研究を推進し、県民ひいては国全体の医療の質向上に寄与していきたいと考えております。

当院の先進医療：手術支援ロボット

結腸癌のロボット手術診療報酬適応 (2022.4.1～)

2022年4月から結腸癌に対してロボット支援下腹腔鏡下手術(以下、ロボット手術)が保険適応になりました。これにより2018年から先行して保険適応になっていた直腸癌と併せてすべての大腸癌(結腸癌・直腸癌)に対してロボット手術が保険診療で施行可能になりました。



<手術支援ロボット「da Vinci」>



<手術支援ロボット「da Vinci」イメージ>
(イテュイティブサージカル合同会社提供)

手術時間は癌の部位によって差はありますが、3-5時間程度です。
ロボット手術では従来の腹腔鏡下手術と同様に細いカメラや鉗子を用いるため、5-12mmの孔を5-6か所置くことで手術が可能です。
これにより、従来の開腹手術より患者さんへ与えるダメージが少ない“低侵襲な手術”になり、術後の経過が良好であれば、術後6日程度で多くの方が退院になります。
手術に関するご質問は担当医からお答えいたします。どうぞお気軽にご相談ください。

国内初手術ロボット「HINOTORI」導入

国内初の手術ロボット「hinotori」が、2022年11月に導入されました。

手術ロボットの使用には術者の技術力が必要となりますが、患者さんにとってメリット多い“低侵襲な手術”であるため、今後も積極的に行っていきたいと考えています。



<ロボット手術のメリット>

- ・傷口が小さい
- ・機能の温存が向上
- ・術後の疼痛が少なく、回復も早い
- ・術後合併症のリスクが低い

<ロボット手術のデメリット>

- ・誰でも執刀できるわけではない
- ・併存疾患によっては手術ができない